NEWS

2022.2.19　オンライン

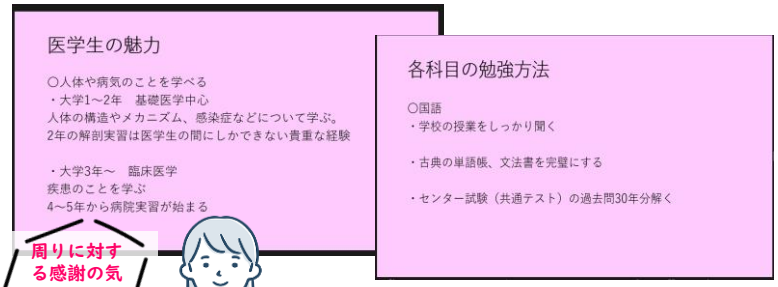
医師を目指そう ～中高生と医学生の交流企画～

を開催しました！

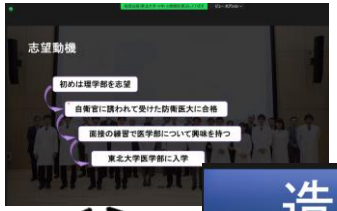
2月19日（土）に、医師を目指そうと考えているまたは、医師という職業に興味がある中高生と医学生との交流企画を行いました。オンライン企画という事もあり、全国から中学生と高校生の参加があり、医学生3名と交流を行いました。内容をご紹介します。

Program①

医学生からのメッセージ



周りに対する感謝の気持ちは忘れないで



医学科は、横の繋がりが一番ある。楽しいことも大変な時も仲間と共有していける。

医学生2名（山形大2年生、東北大6年生）から、自身が医師を目指したきっかけや、医学部受験時の勉強方法、医学生生活、大学での研究について等々、具体的にお話していただきました。
参加した学生へのメッセージも心に響く言葉でした。この話をきっかけに、交流会でもたくさんの質問が飛び交っていました。

Program②

中高生と医学生との交流会

一部をご紹介！

Q. 中学生のうちにやっておいた方が良いことはありますか？

A.　中学で習う勉強内容は中学生のうちにやること。私は、中高一貫校で、中3の時に高1の勉強をしていたが、後にそれは良かったと思っている。 自分は、5浪して医学部に入っている。中学校でこけてしまい、高校に入って勉強のレベルについていけなくなり、大変だった。中学の勉強は中学生のうちに理解しておくことは大切。

Q. 学校の勉強以外でやっておいた方が良いことは？塾に通っていないから、どれくらい参考書を買って勉強していたかなどを知りたい。

A.　高校時代は、中学の勉強の遅れを取り戻すのに必死で、高1の時は中学の参考書を買って、基礎固めをしていた。 自分の入りたい大学の情報を調べることは非常に大事。筆記が得意とか、センターが得意とか、人によって違う。大学によって、配点の違いは結構多い。高1の段階で、大学の情報を調べることはやっておいた方が良い。自分の友人でも、センターが得意な人がいて、早くから勉強していたからか、最後までセンターに強いままだった。 相手（入りたい大学）のことをよく知ってから挑むことはとても大切です。何も知らずには戦えません。

医学生から激励のメッセージ

大学は面白いし、大学に入ってから出来た友人は、小中高時代の友人に比べて、繋がりが強くなると思う。皆は、これから素晴らしい友人に恵まれていくと思う。

私は、奨学生のことからずっと医師を目指していて、結局5浪したが、ようやく医師になれそう。 なので、医師を目指すなら皆にも頑張ってほしいし、もし違う道に進むとしても、こういう世界があるんだということは知っていてほしい。もし、いつか医師として一緒に働ける機会があれば、よろしくお願いします。

Program③

医師が働く場所ってどんな所？

最後に、坂総合病院の紹介と、民医連が大切にしていることを紹介しました。
さらに、病院の中を動画で説明し、最後に所属する医師に協力していただき、中高生に向けたメッセージを動画にしてお伝えしました。